

No.234

令和6年8月10日発行

編集/発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506

FAX.0776-20-5744



いいね!
 いいの時代、自分からアピールしなさい!
 福井市

ふくい市議会だより

H16.7.18 福井豪雨
 (手寄1丁目付近)

5月臨時会 (5月14日)

正・副議長などの各役職を
 選出しました

詳細は2ページ

市長提出の議案2件、報告6件を
 審議しました

主な議案は3ページ
 審議結果は10〜11ページ

6月定例会 (6月3日〜6月20日)

市長提出の議案14件、報告11件を
 審議しました

主な議案は3ページ
 審議結果は10〜11ページ

議員提出議案1件を審議しました

主な議案は3ページ
 審議結果は11ページ

請願1件、陳情1件を審議しました

審議結果は11ページ

委員会審査

詳細は4ページ

議員23人が一般質問を行いました

詳細は5〜10ページ

↑ 九頭電川水系総合水防演習

20年前に発生した福井豪雨の経験と教訓を風化させず、
 水害から地域住民の安全を確保するため、地域防災体制を
 強化し、防災技術の向上ならびに防災意識の高揚を図ること
 を目的に、12年ぶりに本市で開催されました。

議会の構成

◆池上優徳 議長



池上議長は市議当選3回で、この間、副議長、議会運営委員会委員長のほか、予算特別委員会委員長などを歴任しました。

【住所】福井市和布町14-32-1

◆村田耕一 副議長



村田副議長は市議当選4回で、この間、副議長、経済企業委員会委員長のほか、監査委員などを歴任しました。

【住所】福井市御幸1-11-5

(敬称略)

Table of Council Members (委員会名, 委員長, 副委員長) including sections like 常任委員会 and 特別委員会.

議会選出の各役職一覧

Table listing various council roles and their holders, such as 監査委員, 福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議員, etc.

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。10議案等11ページに掲載しています。

5月臨時会

人事案件

○監査委員 監査委員の欠員を補充するため、津田かおり氏と漆崎與氏を選任することに同意しました。

6月定例会

令和6年度補正予算

6月補正予算は、当初予算に引き続き、市長ビジョンに掲げた事業を重点に編成し、市民一人ひとりが「楽しい」「安心」「元気」なふくいを実感することができる事業を速やかに、着実に、そして力強く進めるほか、国・県の補助金等に伴うものや、各種施策を推進するために予算措置が必要になったものについて計上するものです。

今回の補正予算の規模は、一般会計で28億654万2千円、介護保険特別会計で1,238万3千円、下水道事業会計で3億2,552万2千円を追加す

【主要事業】

I 市長ビジョンに基づく事業

- 「ふくいのはれ」プロジェクト
「ふくい」ダン☆スタ」プロジェクト
ONE PARK FEST
I・V・A・L支援事業
県都まちなか再生事業
灯の回廊整備事業
足羽山回遊プロジェクト事業
ふくいのドライブ、サイクリング、ハイキングコースPR事業
外国人目線でのインバウンドプロモーション
台湾をターゲットとした農工商連携プロモーション
大阪・関西万博インバウンド誘客事業
愛宕坂文化施設情報配信事業
Love・マイチーム応援文化機運醸成事業

「ふくいは元気」

- ふくいMaas 構築事業
イキイキ働く女性発信事業
企業のエネルギー「見える化」応援事業
未来を拓く奨学金返還支援事業
福井駅発「ぐるブル周遊バス」実証事業
市場発「ふくいサーモン」支援事業
ふくいの匠 熟練の技に触れる
中核市サミット2025 in 福井開催事業

II 国・県の補助金等に伴う事業

- 児童手当給付事業
児童手当等(職員給与費)
下水道整備事業

※補正予算の概要については、市財政課のホームページをご覧ください。



III 各種施策を推進するための取組

- 福井駅西口広場舗装改修事業
都市計画道路整備事業
並行在来線利用促進事業
市庁舎本館災害復旧事業
「いのちを守る」木造住宅無料耐震診断・改修緊急事業
令和6年能登半島地震支援経費
新型コロナウイルス定期予防接種事業
保育の職場環境改善事業
「子ども誰もが通園制度(仮称)」の試行的事業
認定審査会デジタル化事業
ごみ処理施設整備運営事業
定額減税補給付金事業
漁業機器等導入支援事業
「新たな日常」に向けた学習環境整備事業
新学校給食センター整備運営事業

条例

○福井市まち・ひと・しごと創生基金創生基金条例の制定について

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に、法人から寄附された寄附金を適正に管理し、当該事業の実施に必要な費用に充てるため、福井市まち・ひと・しごと創生基金を設置するものです。

市会案(議員提出議案)

○福井市議会の個人情報保護に関する条例の一部改正について

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の規定の整理を行うものです。

○福井市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について

子どもに対する医療費の自己負担金を無償化するものとする。

○福井市越前水仙の里温泉波の華の設置及び管理に関する条例の一部改正について

福井市越前水仙の里温泉波の華の経営の安定化を図るため、利用料金の上限額を改定するものとする。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。
※委員会終了後に掲載

建設委員会



《県都まちなか再生事業について》

問 新幹線開業直後のまちなかは大きなにぎわいとなっていたようだが、新幹線開業を一つの目標としている本事業で、実際に支援を行った店舗の集客状況はどうであったのか。

答 改修を行った店舗のうち、一部を除き1割から3割ほど売上が増加するなど、想定以上の集客があると聞いている。

問 ただ単に補助金を支給して、それで終わりというのではなく、市の職員が実際にそういった店舗を訪れ、入り込み状況等を肌で感じていくべきと考えるがどうか。

答 改修した店舗に実際に伺ったところ、想定以上ににぎわいがあり、質の高い店舗が数多くあると感じた。新幹線開業以降、福井駅周辺はにぎわっているが、浜町や片町のほうにまで人が流れてい

ないという声もあることから、こういった店舗が新たに開店していくことにより、人の流れを誘導できるような、今後も取組を進めていきたい。

総務委員会



《ライブ映像による緊急通報支援システム整備事業について》

問 市民がスマートフォンを使って、ライブ映像による緊急通報ができるようになることだが、どのように行うのか。

答 119番通報時に、通信指令員が通報者の同意を得てから、通報者のスマートフォンにショートメッセージを送信し、そこに表示されているURLに通報者がアクセスすることで、映像による通報が可能となる。

《福井市まち・ひと・しごと創生基金条例の制定について》

問 企業版ふるさと納税は非常にありがたい制度であるが、対象が市外の企業とな

るが、対象が市外の企業となっている。市内の企業もこの制度を活用し、最大9割の税の軽減を受けられるとよいと思うが、そういったことは考えていないのか。

答 この制度は、本社が市外にある企業を対象としているため、例えば創業者や経営者が福井市出身であるなど、本市との関わりが深い市外の企業に広く呼びかけていきたい。

経済企業委員会



《外国人目線でのインバウンドプロモーションについて》

問 外国人目線に沿ったお客とどのように違うのか。

答 令和4年度に国内に在住する外交官向けにアンケートを実施したところ、日本人目線と外国人目線とは、異なる点が多くあることが明らかになった。具体的には、二次交通に関して、国内日本人観光客と同様、訪日外国人観光客にも、電車やバスといった公共交通機関の安定的な供給が不可欠と考えていたが、外国人観光客はレンタカーを頻繁に利用するという

ことが判明した。また、旅行先を決定する際に利用しているウェブサイトが明らかになるなど、数々の新たな情報を得ることができたことから、これらの情報に合わせて事業を展開していく。

教育民生委員会



《ごみ処理施設整備運営事業について》

問 新ごみ処理施設に係る建設工事の工期を9か月延長した原因やインフレスライドによる工事費の増額について説明してほしい。

答 工期の延長については、敷地造成工事の工期延長により建設工事の一部を5か月中止したことによるものである。入札時には、今年4月からの時間外労働時間の規制が適用される前の令和5年度の工事着手を前提として工程を作成していたが、建設工事の一部中止により、その期間のほとんどが規制の適用期間となった。加えて、工事を一時的に中止することで、資材の発注や作業員の手配を止めざるを得なかったことなどが原因である。また、工事費の増額については、令和3年11月の

設計基準日以降、約2年間のインフレスライド分として工事費の約14%分が増額となった。

《県都にぎわい創出対策特別委員会》

問 企業版ふるさと納税で10億円の資金調達をするとのことだが、福井市内の企業に対しては寄附や出資を願っていて、福井市外の企業にはふるさと納税の営業をしているのか。

答 企業版ふるさと納税による寄附は、福井市外の企業が対象であり、市外、県外の企業に福井ブローウィンズのスポンサー営業の一環として、にぎわいに向けたビジョンなどを説明しながら、協力を呼び掛けている。ただし、本格的には議会や県の承認、公費負担など具体的にアーリー構想の形が見えてきた段階で、市外の企業に責任をもって説明していきたい（経済界からの答弁）。

一般質問要旨



まちなかプロジェクト

質問

市長が目指す「こどもまんなか社会」とはどのような社会か。また、条例に定める市長の熱い思いと決意を伺う。

回答

「こどもまんなか社会」とは、子どもの利益を第一に考え、本市の施策の真ん中に据えていくこととするものである。（仮称）こども未来条例については、こどもまんなか社会を目指す上で、子どもたちが関わる多くの市民、そして行政が、一つの理念を共有し、ともに手を携えて取り組んでいく基盤として制定したいと考えている。
私は、将来にわたり、本市の活力を維持していくという意味において、子どもは社会の宝、明るい未来へのかけ橋であると考えている。そういった思いも込めながら、社会全体で子どもを支えられるような条例案としていきたいと考えている。

当面する諸問題について市の考え方を問うため、6月10日から12日までの3日間、23人の議員が一般質問を行いました。
※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

一般質問

- ① 堀江 廣海 (一真会)
 - まちづくりについて
- ② 皆川 信正 (一真会)
 - アリーナ構想について
- ③ 酒井 良樹 (市民クラブ)
 - 地域公共交通について
 - 窓口サービスについて
 - 小学校教員の体制について
- ④ 野嶋 祐記 (新政法)
 - 市長ビジョン ロードマップについて
 - アリーナ構想について
 - 観光施策等について
 - こどもに関わる施策について
- ⑤ 菅生 敬一 (公明党)
 - 未来を拓く奨学金返還支援事業について
 - 終活支援について
 - ChatGPTの活用について
 - ごみの減量化とごみ収集のIT化について
- ⑥ 青木 幹雄 (一真会)
 - 市長ビジョンについて (楽しい・安心・元気)
 - 福井市の顕彰について
 - 農業について
 - 社会教育について
- ⑦ 高田 稔浩 (市民クラブ)
 - ふくい桜マラソン2025の実行委員について
 - 障がい者に対する合理的配慮の義務化について
 - 公民館へのエレベーター設置について
 - ソフトボール向けグラウンドの多目的化について
 - 障がい者就業施設の経営安定化について
 - 重度障がい者に対するタクシー利用助成券の1回の使用枚数について
- ⑧ 奥島 光晴 (新政法)
 - 障がい者の生活介護の一考察について
 - 保育士不足について
 - 住環境に係る設備の補修、修復のスピード感について

- ⑨ 山田 文葉 (日本共産党)
 - 学校の体育館への空調設備について
 - 介護保険について
 - 文化会館について
 - 地方自治法の一部改正について
- ⑩ 岩佐 武彦 (ふくい未来の会)
 - 空き家対策について
 - 路線バスの運転士確保策について
 - ふくい桜マラソン2024について
 - 子ども医療費の完全無償化について
 - 地区の体育大会について
- ⑪ 下畑 健二 (公明党)
 - アリーナ構想について
 - 防災・減災対策について
 - 不登校対策について
 - 公共交通の運転手不足について
- ⑫ 寺島 恭也 (一真会)
 - 地域交通と都市計画道路等について
 - 小学校のプール学習等の取組と公共施設並びに学校施設等の今後について
 - 消防用設備等の定期点検の実施率について
 - 本市墓地公園の現状と今後について
 - 犯罪被害者等への支援について
- ⑬ 近藤 實 (無所属)
 - ふるさと納税予算未達について
 - 台湾をターゲットとした農商工連携プロモーション
 - 福井市財政の健全性について
 - アリーナ構想への疑問と支援 (負担) のあり方
 - 極めて不適切な「多世帯近居中古住宅取得支援」の補助打切り
- ⑭ 葛野 早智代 (一真会)
 - 防災教育について
 - こどもまんなか社会の各種団体との関わり方について
 - 補導の現状と部活動の地域移行について
 - 通学路について
- ⑮ 浦上 逸人 (一真会)
 - ふくい桜マラソンについて
 - 福井駅周辺の魅力ある空間づくりについて
 - 避難所の環境整備・運営について

- ⑯ 宮岡 勝也 (ふくい未来の会)
 - パブリックコメントの認知度向上とより一層の活用について
 - 橋本左内先生の文化振興と左内公園の市の捉え方について
 - 笑顔あふれる対面給食の状況について
 - 太陽光パネルの消火活動の安全性とその周知について
 - コロナワクチン接種の危険性と健康被害救済制度の申請について
- ⑰ 鈴木 正樹 (日本共産党)
 - 教育環境の改善について
 - 子育て応援のパッケージ政策づくりについて
 - 市施設のグラウンド照明の改善について
 - あじさいトークがなくなったことについて
- ⑱ 玉村 正人 (市民クラブ)
 - 新学校給食センターについて
 - 学校のエアコン設置について
 - 小学校プールについて
- ⑲ 堀川 秀樹 (市民クラブ)
 - アリーナ計画成功に向けての問題点について
 - アオッサの空き店舗対策と県立大学地域政策学部の誘致について
 - 再開発現場等で出土する笏谷石の利活用について
- ⑳ 八田 一以 (一真会)
 - 水道事業について
- ㉑ 今村 辰和 (一真会)
 - 北陸新幹線開業効果について
 - 有害鳥獣捕獲対策について
- ㉒ 佐野 弘 (一真会)
 - 学校における教員の不足について
 - 児童館における猛暑対策及び職員の勤務時間について
 - 電気代高騰及び人手不足対策、企業PR支援について
 - 元気な農業に向けて
 - 災害時における避難所の確保について
 - 浄化槽について
- ㉓ 伊藤 洋一 (新政法)
 - 交通安全について



皆川 信正 議員
一真会

質問
アーリーナ構想について市長の真意、思いを聞いた

回答
民設民営のアーリーナ構想をここ3年ほど、各議員が質問・意見してきたが、その間、建設資金は国、県、市より50億円もの支援を受ける内容に膨れ上がり、不透明なまま議会として反対とばかり言っていたら、ない時期になった。市長の真の思いを述べていただきたい。



高田 稔浩 議員
市民クラブ

質問
公民館へのエレベーター設置について

回答
公民館は、地域の社会教育及び地域コミュニティの活動拠点であり、災害時には避難施設の役割を担う、全ての住民にとって大変重要な施設である。高齢者をはじめ誰一人取り残さないよう、公民館へのエレベーターの設置が必要と考えるが、市の所見を伺う。

回答
現在、エレベーターが設置されていない公民館では、高齢者など手助けが必要な場合は公民館職員にお声がけいただき対応している。バリアフリー法では、公民館など特定建築物のエレベーターの設置は努力義務となっており、現在のところ、公民館にエレベーターを設置することは考えていない。今後、大規模改修を予定している公民館については、地元で設置する建設委員会において高齢者や障がいのある方も利用しやすい公民館となるよう検討していただき、その内容を踏まえ、計画的に公民館の整備を行っていく。



酒井 良樹 議員
市民クラブ

質問
地域公共交通について

回答
京福バスが、運転手不足により、減便や路線廃止などを発表し、今後さらなる減便も予定しているとのことだが、今後の公共交通網の整備について、既存の事業者を頼らない方法の検討は行っているのか、またその内容は。

回答
今年度から、美山地区や越前地区で運行している市直営の地域バスの運行業務を京福バスから別のバス事業者へ委託することで、負担を少しでも軽くし、路線バスに注力できる環境づくりに努めている。また、県が進めているライドシェアの実証実験に市内のタクシードライバーも参加する予定であり、本市としても路線バスの代替手段となりうるかどうか、適正に判断したいと考えている。加えて、減便や廃線が予定されている路線については、デマンドタクシーへの転換や住民共助型の輸送活動、さらに異業種との連携など、地域の特性に応じた移動手段の確保に努めていく。



奥島 光晴 議員
新政会

質問
保育士不足について

回答
県内の保育士不足は深刻である。県内唯一の保育士養成機関の仁愛大学と仁愛女子短大の志願者数は定員割れしており、保育士になりたい人が少ない。本市は県と仁愛学園との三者協議をして仁愛学園の保育養成学科の存続を図り、対策を講じるべき。

回答
本市では、平成27年度に仁愛女子短期大学と協定を締結し、保育の質の向上に関する合同研究会等を通じ、学生たちが保育士への関心と意欲を高める取組を行っている。また、保育人材を確保するため、福井県保育人材センターと連携し、求人登録や就職説明会に参加している。本市としては、保育人材の育成を図り、安定的に確保できるように、今後も引き続き仁愛学園と連携するとともに、県に対し、三者協議による情報共有などについて提案していききたい。



野嶋 祐記 議員
新政会

質問
アーリーナ構想について

回答
アーリーナ建設の今後について、どのように考えているのか。当初の予定を考えるとあまり猶予はないと思う。現在でもかなりタイトな計画だと考えるかどうか、また今後どのような工程で進めるのか。現在の問題、課題はどのように考えているのか。

回答
令和9年秋の開業を目指したスケジュールを考えていくと、実際の整備のほか、都市計画に係る様々な手続など、工程は非常にタイトな状況である。そのため、現在、庁内の関係所属間で密に打ち合わせを行い、建設に向けた現地での調査や法的手続について、準備を進めている。また、イベント開催時の交通処理や駅周辺からの来客の安全な誘導など、地域住民の方に対して丁寧に説明し、理解を得ていくことが何よりの課題である。加えて、都市計画法や都市公園法に基づく用途地域や公園の変更等を遅滞なく進めていくことが、喫緊の課題と認識している。



山田 文葉 議員
日本共産党

質問
学校体育館に早急に空調整備を

回答
学校体育館の空調整備は、児童生徒の熱中症対策や避難所の環境改善の観点から急がれている。整備に使える国の交付金などは、早期に進むよう2025年度中に完了する事業を対象に増額している。市の負担を軽くするため期限までに体育館の空調整備を行うべき。

回答
6月補正予算に計上した避難所空調設備整備事業の基礎調査は、小学校の体育館を対象としている。避難所に指定されている小学校体育館への空調設備の整備スケジュールについては、この基礎調査結果や学校の施設改修計画等を踏まえ、検討していく。



菅生 敬一 議員
公明党

質問
ChatGPTの活用について

回答
昨年9月定例会の予算特別委員会、庁内業務でのChatGPTを用いた検証を行っているとの答弁があった。検証の具体的な内容や結果はどうだったのか。また、現在はどのような段階なのか、今後の方向性についてはどのように考えているのか。

回答
各部署等のDX推進リーダーを中心にChatGPTを用いて、利用可能な業務などについて検証を行ったところ、検証後のアンケートで、全体としてメリットの部分が多く、課題を見極めながら業務へ導入すべきという意見が大多数を占めた。そのことを踏まえ、今年2月に、情報の取扱いに関する注意事項を盛り込んだ生成AIガイドラインを策定し、生成AIの活用による業務効率化を図ることとした。今後、業務における効果検証や他自治体の好事例を職員に周知することなどにより、業務効率化と市民サービスの向上を図っていく。



岩佐 武彦 議員
ふくい未来の会

質問
バス会社の運転手不足について

回答
バス会社では運転手不足により、路線の廃止や減便が検討されている。本市では地域の足を確保するというところで、地域コミュニティバスが8地域で運行されている。そのうち4地域の路線は、バス会社により運行されているが、この路線の継続は大丈夫か。

回答
4地域の地域コミュニティバスについても、バス会社が運行しているため、路線バスと同様、運転手不足の問題は厳しい状況にあると考えている。本市としては、公共交通の利用を促進していく立場として、今後、利用状況や地域の方のご意見を伺いながら、バス事業者、地元で組織されている協議会と一緒に、維持の方法を協議していききたい。



青木 幹雄 議員
一真会

質問
第17代 福井市長に成られて

回答
「ふくいは楽しい」「ふくいは安心」「ふくいは元気」を掲げて約6か月の時が過ぎた。約30年ぶりの市職員経験者として市長に成られた方、市民の方々に思いの丈をわかりやすく熱く語っていただきたい。

回答
「ふくいは楽しい」「ふくいは安心」「ふくいは元気」では、北陸新幹線開業効果の最大化と継続を図るため、まちなかにぎわいと交流をしっかりと推し進める。「ふくいは安心」では、子ども子育て環境の充実や、安全で快適な道路環境のレベルアップ、災害に強い強靱なまちづくりなどに取り組む。「ふくいは元気」では、産業施策を強力に推し進める。これまで先人が積み上げてこられた盤石の基盤を活かして、市民の皆様がこれまで以上に幸福を実感できる福井を築き上げていくため、私が先頭に立ち、全職員が一丸となって創意と工夫を凝らして、持てる力の限りを尽くしていく。



下畑 健二 議員
公明党

質問
アーリーナに期待される防災機能について

回答
市長は、アーリーナは大規模災害時の防災拠点になると話しているが、具体的な説明がまだないように思う。観光客や地域の安心にもつながる、アーリーナの防災拠点機能についてどのように考えているのか伺う。

回答
地震や風水害などの災害が発生した場合、福井駅周辺では、通勤・通学者に加え県内外からの観光客など、多くの人が帰宅困難者となることも懸念される。その際、一時的な避難場所として、また支援物資の搬入搬出を行う輸送車が直接乗入れできる広域的な拠点として、アーリーナがその機能を担うことも想定している。経済界から示されたアーリーナ基本計画案には、行政や地域と連携しながら防災機能の強化を図ることが盛り込まれており、本市としても、帰宅困難者を含めた地域の安全安心を守る機能を発揮するアーリーナとなるよう、今後しっかりと協議を進める。



寺島 恭也 議員
一真会

地域交通と都市計画道路等について

今回補正予算に盛り込まれた都市計画道路高木灯明寺線の道路整備事業、並びに並行在来線利用促進としてハピラインの新駅設置の検討は、どこまで踏み込んで検討を行うのか、所見を伺う。

回答

今回の補正予算では、福井縦貫線から経田灯明寺線までの区間について、道路線形や鉄道との交差部における構造形式の検討等、都市計画変更に向けた準備を行っていく。また、ハピラインふくいの利用者を増やす上で、新駅設置は、経営安定化につながる重要な手段だと考えている。また、駅舎と、道路や広場の整備は密接な関係があるため、一体的に進めていく必要がある。そのため、今回の補正予算において、駅舎の整備と併せ、駅前広場の位置や形態等について検討を行う費用を計上しており、今後、関係機関と連携を図りながら検討を重ねていきたいと考えている。



近藤 實 議員
無所属

アリーナ構想への疑問と支援(負担)の在り方について

今後30年間の負担額について試算すると、行政側(国・県・市)負担の総計は137億円、民間負担の総計は17.5億円である。行政側負担は民間負担の7倍以上になる。民設民営で進めてきたはずの事業の実体がこれなのだ。これは妥当なことか。

回答

経済界が主体となって進める事業ではあるものの、経済界、県、市が連携して実施していく事業であることを踏まえ、必要な支援を行うことについては、適当であると考えている。建設、運営など事業実施に係る真に必要な支援については、今後とも慎重に判断していく。また、民間企業の負担については、商工会議所を中心に出資等を募っているものだが、民間企業の視点に立てば、本業の事業運営に加え、様々な社会貢献等を考える中で、それぞれの企業において判断されるものと考えている。



葛野 早智代 議員
一真会

防災教育について

小・中学校の総合学習の時間において、マイタイムラインの作成、避難所運営ゲームの活用、地域の防災人材活用などの取組を行い、学校、家庭、地域が一体となって防災教育の充実が努めていくことが重要だと思いが、どのように考えているのか。

回答

総合的な学習は、学校がそれぞれの環境や特色に応じてテーマや学習内容を決めていくことから、全ての学校で同様の学習を一律に取り組むことは想定していないが、総合的な学習のテーマを防災と位置付けて、学習の中で避難所運営をゲーム形式で取り組んでいる学校もあり、特別活動の時間などにこうした学習を取り入れることは可能であると考えている。今後、防災に関する学習などの取組を他の学校に紹介するなど情報共有に努め、子どもたちの防災に関する知識を高めていく。



浦上 逸人 議員
一真会

避難所の環境整備・運営について

市と地域の関係者が指定避難所に集まり、避難所開設時の役割分担などについて確認する機会を設けてはどうか。また、被災時に早急に避難所を開設するため、キーボックスの設置や情報通信技術による開設システムの導入をしてはどうか。

回答

各自自治会等への出前講座で、避難所運営マニュアルや避難所開設時における自治会や各種団体の役割について周知している。また、自主防災組織連絡協議会が行う防災活動に補助しており、各地域がそれぞれの特性に応じ、訓練を実施することで、避難所運営マニュアルや避難所開設時の役割の再確認をいただきたと考えている。キーボックスについては、社会体育の際に利用する目的で設置しているものを、避難所開設の際にも利用できないか関係者と協議していく。情報通信技術による開設システムについては、他自治体の事例を参考に研究していく。



宮岡 勝也 議員
ふくい未来の会

笑顔あふれる対面給食について

昨年5月の5類移行を契機に、コロナ禍前の給食に戻していけると考える。給食はただ単にごはんを食べるだけの時間ではなく、人間関係をよくなる場でもあり、改めて食育といった観点からも保護者に周知し、対面給食を前向きに検討できないか。

回答

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、一度でも対面給食を実施したことのある学校は、小学校が51校中36校、中学校が23校中9校であり、半数近くの学校で対面給食が実施されている状況である。本市では、現在、給食時における児童・生徒の配席に関して特別な制限は設けていない。対面給食の実施については、児童・生徒の発達段階や学校環境、感染症の罹患状況などから各学校で総合的に判断し、柔軟に対応していただければよいと考えており、今後も対面給食を実施する学校は自然に増えていくと思われる。



鈴木 正樹 議員
日本共産党

奨学金返還事業の拡充を！

市の創設した奨学金返還支援事業は、学生1人当たり最大120万円の支援額であり、日本学生支援機構の平均的な借入額(320万円)と比べて足りず、都市部の給与格差から考えても魅力的な制度と感じない、さらなる拡充を！

回答

未来を拓く奨学金返還支援事業は、本市の未来を担う若者を支援し、本市への移住・定住の促進と市内中小企業の人材確保を目的に実施するものである。補助率が100%で、年額の上限を20万円として5年間補助することから、日本学生支援機構の平均的な返済額に對して、十分な額となっていると考える。また、業種に捉われないこと、市内中小企業に就職した人を広く対象としていること、対象者に子どもが生まれた場合は期間を1年延長して支援するということから、中核市の中でトップクラスの厚い支援となつていくと考える。



玉村 正人 議員
市民クラブ

夏のプール開放について

本年度の夏季休業中の小学校プール一般開放は、どのように計画しているのか。

回答

殿下小学校を除く市内49の小学校において、7月22日から8月10日の期間中に1校あたり3日から6日間、プール開放することを計画している。例年は、午後にプール開放していたが、プール開放の間帯を、比較的涼しい午前中に変更することで、できるだけ猛暑の影響を受けない運用となるよう計画している。今後、猛暑は続くと考えている。次年度以降のプール開放についても、児童の安全面と、今年度からの午前中開放の利用実績を踏まえた上で、学校関係者やPTAの方々と協議しながら、検討していく。



堀川 秀樹 議員
市民クラブ

再開発現場等で出土する筈谷石の利活用について

再開発現場等で出土する筈谷石を労力と金を掛けて廃棄している現状に対し、オンラインサイトの活用事例がある。今後検討される坤槽の復元の際には、筈谷石が必要となる。今後、出土する筈谷石の利活用を検討すべきだ。

回答

再開発現場等の工事現場で出土する筈谷石は、規模や状態などにもよるが、まずは現地で保存や活用ができないか検討するよう、指導を行っており、例として、現在、工事を進めているB街区で出土した筈谷石は、敷地内に整備する広場の利活用を図っていく予定である。今後、再開発現場等で、事業者による現地で保存や活用が難しく、やむなく搬出処分されるような場合においては、出土の規模や状態などを踏まえ、受入れや保管、後々の利活用の可能性などについて、市や県の埋蔵文化財担当課とも協議していく。



八田 一以 議員
一真会

水道事業について

九頭竜浄水場の更新工事に際して、地元の北野下町が様々な提案、要望をしたが、市から前向きな回答がなかったと聞いている。本市基幹浄水場の地元である北野下町に對して、市にはきちんと対応して頂くよう、お願いしたい。

回答

九頭竜浄水場については、昭和50年度の建設以来、北野下町を始めとした近隣の地区の皆様は、多大なご理解と協力をいただいている。今回の九頭竜浄水施設の新事業は長期間に及ぶため、調査や工事等により、これまで以上にご迷惑をおかけすることとなる。地元住民の皆様のご理解とご協力を得るため、これまでにも協議を行ってきたが、今後も工事に際しての安全確保や周辺環境への配慮を行うなど、引き続き協議を行い、誠実に対応していく。



今村 辰和 議員
一真会

有害鳥獣捕獲対策について

例年に比べ降雪量も少ない冬であったためか、クマを含めた有害鳥獣の出没報道が相次いでいる。美山地区では、サルの群れの目撃情報が多く寄せられているが、現在のこのような対応を行っているのか。また、今後どのような対策を行っていくのか。

回答

捕獲を含めた効果的な被害防止策を行うには、サル群れの行動範囲や個体数、人や集落の被害状況などの把握が重要であるため、追払いなどの対策に加え、専門機関によるGPSでのサル生息状況調査を実施した。今後のサル対策としては、群れの捕獲と、被害防除対策の促進などの対応が提案されている。群れの捕獲については、今年度から専門家のアドバイスをもとに檻を設置する予定である。被害防除対策の促進については、「サルを寄せつけにくい集落づくりに関する研修会」を開催し、地域住民の意識向上に努めていく。

議長の動静(令和6年4月～6月)

4月16日	中核市議会議長会 総会(岡山県)
23日	北信越市議会議長会 監事会、評議員会、定期総会
5月13日	福井県市町振興協会 理事会
21日	全国市議会議長会 理事会(東京都)
	中核市議会議長会 要望活動(東京都)
22日	全国市議会議長会 定期総会(東京都)
	北陸新幹線建設促進大会(東京都)
23日	全国市議会議員共済会 理事会、代議員会(東京都)
6月28日	福井市北陸新幹線建設促進協議会 総会

5月臨時会

5月14日	議会運営委員会、 議員全員協議会、本会議
-------	-------------------------

6月定例会

6月3日	本会議
4日	議会運営委員会
10日	本会議(一般質問)
11日	本会議(一般質問)
12日	本会議(一般質問)
13日	総務委員会 建設委員会
14日	教育民生委員会 経済企業委員会
17日	県都にぎわい創出対策特別委員会
18日	議会運営委員会
20日	本会議

定例会外の議会日程(令和6年4月～6月)

4月25日	北陸新幹線開業効果最大化対策特別委員会
30日	議会運営委員会
5月9日	議会運営委員会
27日	議員全員協議会、議会運営委員会

傍聴して みませんか

本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。各会議の傍聴を希望される方は、下記を参考にお越しください。

傍聴できる会議	受付場所	受付時間	定員
本会議	市役所本館8階 議場入り口	開会30分前 から (先着順)	97名 (うち車椅子6名)
常任委員会 (総務、建設、教育民生、経済企業)	市役所本館8階 各委員会室前		若干名
議会運営委員会			
県都にぎわい創出対策特別 委員会			
議員全員協議会 予算特別委員会	市役所本館8階 全員協議会室前		

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。
※詳細については、下記のホームページを御確認いただくか、電話でお問い合わせください。

請願・陳情等の 提出について

請願・陳情などは、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されます。基本的にいつでも提出できますが、提出時期等詳細については、ホームページを御確認の上、電話でお問い合わせください。

お問い合わせ

議会事務局 議事調査課
TEL.0776-20-5510

編集 後記

今号から編集委員会は新たな体制でスタートしました。市議会だよりを通じて、議会を身近に感じ、興味を持ってもらえるよう、委員会一丸となって

取り組んでまいります。

さて、今号の表紙は防災訓練関係の写真です。福井豪雨から20年が経過しますが、日頃から防災意識を高め、災害に対して備えることが重要です。これからも暑さが続きます。健康第一でいきましょう!! (編集委員 宮岡)

福井市議会だより編集委員

委員長 堀川 秀樹 副委員長 葛野 早智代
委員 伊藤 洋一、藤田 諭、菅生 敬一、山田 文葉、
高田 稔浩、佐野 弘、宮岡 勝也

次回は 9月定例会です

- 定例会の日程はホームページに掲載します。
- 本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送します。
- 本会議、常任委員会等の模様は、インターネットで録画配信します。

市議会
ホームページ



本紙に関するお問い合わせ

議会事務局 庶務課
TEL.0776-20-5506
FAX.0776-20-5744

WEBでの
お問い合わせ
フォーム

